

大すきいっぱい西北の子

～学びづくり、くらしづくり、仲間づくり～

令和5年7月18日
長崎市立西北小学校
文責：校長 江原芳樹
第3号

梅雨明けが待ち遠しい毎日です。連休は久しぶりに強い日差しがあり、太陽のまぶしい明るさを改めて感じたところです。今週で一学期が終わります。運動会を中心に、子どもたちの成長を感じることができた一学期でした。何ができたのか、何が不十分だったのか、各学級で確かめて、夏休みを迎えたいと思います。

いよいよ夏休み

7月21日からは夏休みです。夏休みは、学校生活と異なり、自分で自分の生活を整えていかなければなりません。決まった時間に、決められたことが準備されているわけではないからです。夏休みは「自分づくり」の最大の機会だと捉え、次のことに取り組んでほしいと考えています。

① 家庭の一員として、役割のある生活を過ごしてほしい。

子どもに「お手伝い」ではなく、「仕事」として任せるものをもたせてください。すでにもっているご家庭は、夏休み期間は少しレベルの高い仕事を任せてみてください。大切なことは、「任せる」こと。失敗や不十分さにも責任をもたせることです。

② 学校で学習したことを生活の中で生かしてほしい。

学校では教科書を中心に学習をすすめますが、本質的な学習は、いつも生活の中にあります。紙面上の学習で終わることなく、学習が生活場面で「使える学び」となるためにも、夏休みは大切な期間です。「わかる」が、「できる」へと発展する夏休みを期待しています。

③ 日頃できないことに挑戦してほしい。

「長編の本を読破する」「いつも疑問だったことを解決する」「2週間かけて〇〇に取り組む」など、時間をかけて取り組むことができるのが夏休みです。結果や成果を求めるのではなく、挑戦することに大きな価値があります。

学校から出される夏休みの課題をしっかりと終わらせることも大切ですが、「夏休みならではの」「夏休みだからできること」を自ら計画し、やってみることに大きな価値があります。そうした経験をした子どもたちは、学校とは違った自信を身に付け、一層向上してこうと意欲を高くもつことができるようになります。

この夏休み、みんなが健康で安全に過ごすことと、ひとまわり心も身体も成長することを心から願っています。

Qubena（キュビナ）の活用について

もうすぐ夏休みです。夏休みには、子どもたちがタブレットを持ち帰り、タブレットでの課題にも取り組むことになります。（夏休みの課題は、タブレットを活用した課題だけではありません。各学年に応じて課題が出されていますので、学年だより等を確認ください。）

タブレットの課題は、AIドリル Qubena です。

昨年度は、AIドリルとして「eライブラリ」を活用してきましたが、令和5年度は、長崎市がMEXCBT（メグビット）に接続するeプラットフォームとして、Qubena（キュビナ）を採用したことから、AIドリルとしても活用しています。長崎市との契約で、今年度は無料で使用することができます。数年後には、現在行われている「全国学力・学習状況調査」は、このMEXCBT（メグビット）を使用して行われることとなります。Qubenaを活用することは、必要条件となってくるのです。



Qubena は、小中5教科対応の AI 型教材です。AI が一人ひとりに合わせて最適な問題を出題できるシステムになっています。夏休みの課題として、有効ではありますが、適宜周囲の大人が子どもの学習状況を確認することが、適正な活用につながります。

昨年まで使用していた e ライブラリは、保護者が子どもの学習状況を確認することはできませんでしたが、Qubena は保護者が子どもの学習履歴を確認することで、正答率は何%なのか、全体の問題を解くのにかった時間はどれくらいだったのか、間違った問題を復習したのかということが分かるようになっています。

夏休みの課題の進捗状況を時折確認していただき、励ましの声掛けや称賛していただきますようお願いいたします。

※Qubena の見方については、保護者向け活用ガイドを「安心・安全メール」にて配信します。「Point 学習状況を簡単に確認できます」の項目を一読ください。

《校長散歩道 No. 3》

もう一度大切にしたい「お天道様が見ている」の精神。

日本人は、宗教心が弱いほうだと言われます。確かに他国に比べると、宗教心による争いごとはありません。親から子どもに必然的に伝えられるほどの強制力もありません。多くの日本人は、自分の宗教に対しての自覚がなく、近親者の不幸の際に「あっ、私は〇〇派だったんだ。」と気づくぐらいです。

宗教心は道德心につながり、多くの国では信仰する宗教の教えが、そのまま道德心といえます。では、日本人は道德心が低いのか、ということそうではありません。むしろ、道德心に関しては、他国よりも高いのではと思います。宗教心の低い日本人が、道德心が高い秘密、それは「お天道様が見ている」精神があるからです。

すべてのものを見ている（見抜いている）象徴として「お天道様（太陽）」が用いられているのですが、この「お天道様」、本当は「自分の良心」ではないかと思います。「お天道様」という対象を置くことで、自分の良心と対峙し、自分の良心に問いかけているのです。

それはある種の「人目」ではありますが、人目を気にすることと、自分の良心の声に従うことは、実質的に同じだと思うのです。

親にやってはいけないと言われたことをやってしまうとき（そんなことは誰しもあるもので）、心の疼き（うずき）を感じる子どもであってほしいと願うばかりです。

夏休みになります。大人の目がないところでも、自分の良心の声に従って行動できる西北っ子であってほしいと願います。